

平成22年 7月12日
東北地方整備局
仙台港湾空港技術調査事務所

東北地方日本海へのGPS波浪計の設置について

東北地方整備局では、平成22年7月21日から随時、東北地方日本海の下記に示す3地点においてGPS波浪計の設置を行います。

記

●GPS波浪計の設置予定について

設置場所	設置予定日 ^{※1}	設置準備を行っている岸壁 ^{※2}
山形県沖	平成22年7月21日(水)	酒田港本港地区袖岡ふ頭岸壁
青森県西岸南部沖	平成22年7月28日(水)	深浦港岸壁(-4.5m)
秋田県沖	平成22年8月3日(火)	能代港中島ふ頭岸壁

※1 設置日程については、気象・海象条件により変更する可能性があります。

※2 設置日当日の早朝(7:00予定)に設置準備を行っている岸壁から設置場所へ向かいます。

●説明会の開催について

設置日前日の14:00からGPS波浪計の概要説明をGPS波浪計の設置準備を行っている岸壁において行います。(詳細については添付資料-3参照)

参加希望の方は、事前に下記問い合わせ先(調査課長宛)にご連絡下さい。

【添付資料】

- GPS波浪計による沖合波浪観測網の概要・・・・・・・・添付資料-1
- GPS波浪計の製作状況と設置位置・・・・・・・・添付資料-2
- 設置準備を行っている岸壁の位置詳細図・・・・・・・・添付資料-3

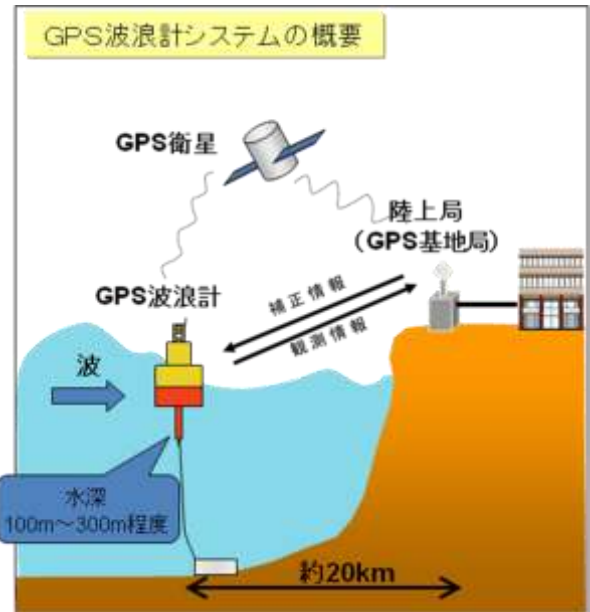
<発表記者会>

宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会、青森県政記者会、秋田県政記者会、酒田記者クラブ

問い合わせ先		
国土交通省	東北地方整備局	仙台港湾空港技術調査事務所
電話 022-791-2116		
所長	佐藤	正勝
調査課長	地本	敏雄

【添付資料－１】GPS波浪計による沖合波浪観測網の概要

GPS波浪計は、GPS衛星を用いて沖合に浮かべたブイの上下変動を計測し、波浪や潮位等の海面変動をリアルタイムで観測するものです。

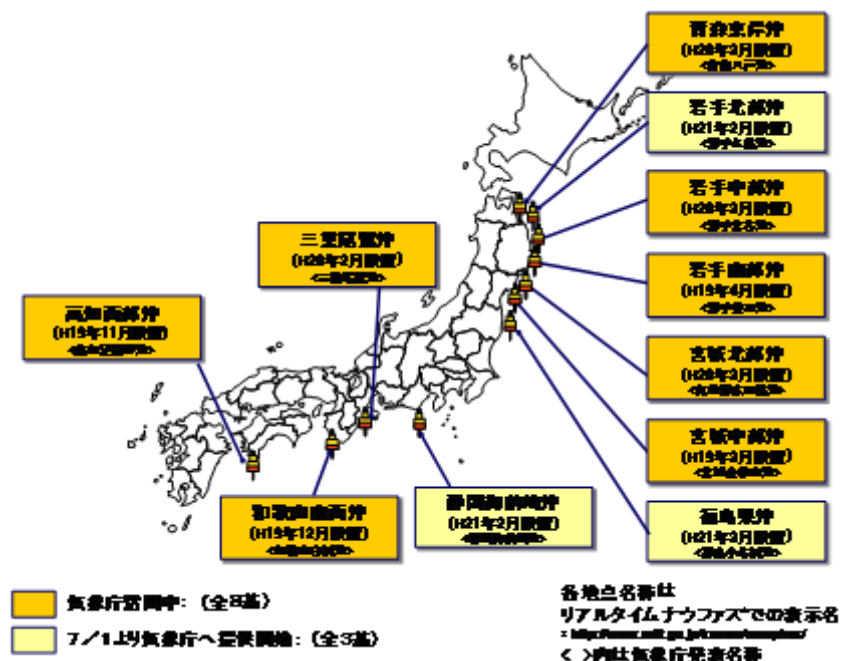


GPS波浪計での観測情報は、港湾整備に必要な波浪情報を取得するとともに、地震発生時には津波の観測も可能であり、気象庁等関連機器と連携することにより、沿岸域での迅速な津波災害対策にも活用することができます。

また、今回設置のGPS波浪計については、設置後データ精査等の試験運用を行い、平成23年度中には本格運用を開始する予定です。

<参考>

国土交通省港湾局では、平成18年度よりGPS波浪計による沖合波浪観測体制の整備を進めており、現在のところ東北地方太平洋側に7基、静岡御前崎沖、三重尾鷲沖、和歌山南西沖、高知西部沖に各1基が稼働しています。今年度は東北地方日本海側の3基（青森県西岸南部沖、秋田県沖、山形県沖）の設置を予定しています。



GPS波浪計の整備状況

【添付資料－2】GPS波浪計の製作状況と設置位置

○製作状況

GPS波浪計は、大阪府堺市のGPS波浪計製作工場にて製作を実施し、現在は東北地方日本海に向けて回航を実施していません。



GPS波浪計製作状況（7/6現在）

○設置位置

今回設置を行う東北地方日本海沿岸のGPS波浪計の位置は以下のとおりとなります。



今回設置するGPS波浪計の設置位置

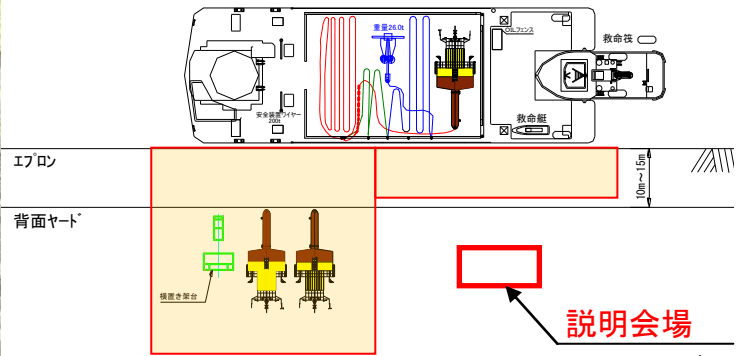
【添付資料－3】設置準備を行っている岸壁の位置詳細図

○「山形県沖 GPS 波浪計」陸上作業場所：酒田港本港地区袖岡ふ頭岸壁

酒田港本港地区



陸上作業場所詳細図(酒田港)



説明会場

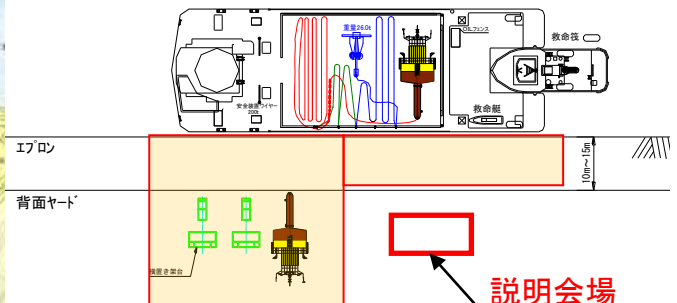
※テントが目印です。

○「青森県西岸南部沖 GPS 波浪計」陸上作業場所：深浦港岸壁(-4.5m)

深浦港



陸上作業場所詳細図(深浦港)



説明会場

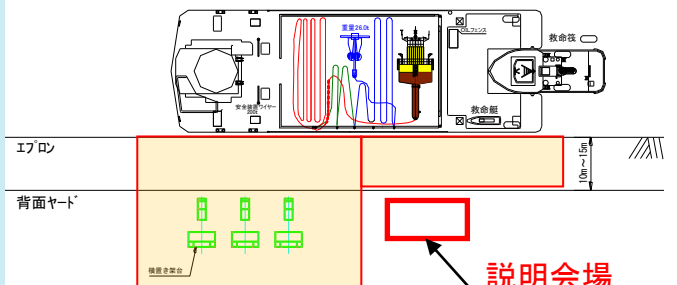
※テントが目印です。

○「秋田県沖 GPS 波浪計」陸上作業場所：能代港中島ふ頭岸壁

能代港中島地区



陸上作業場所詳細図(能代港)



説明会場

※テントが目印です。